

会 議 録

会議名	平成 25 年度 第 1 回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	平成 25 年 8 月 26 日 (月) 午後 2 : 00 ~ 午後 3 : 40
開催場所	丸亀市役所 別館 5 階第 1 会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p style="text-align: center;">岡本 恵子 金 永子 黒田 英津子 日野 明世 森 茂 石原 茂 仁科 清 早馬 倫代</p> <p>(説明のために出席した者)</p> <p style="text-align: center;">企画財政部長 大林 諭 政策課長 小山 隆史 政策課副課長 渡辺 研介 政策課主任 真鍋 裕章</p>
議 題	<p>1. 平成 25 年度外部評価について</p> <p>2. 評価対象事業の選定について</p> <p>3. その他</p>
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨
政策課長	<p>定刻が参りましたので、ただ今より丸亀市行政評価委員会を開会いたします。申し遅れましたが、私、委員長が選任されるまでの間、進行役を務めさせていただきます政策課の小山と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、まず、行政評価委員会委員の皆様へ委嘱状を交付いたします。お名前をお呼びいたしますので、順に市長より委嘱状をお受け取りくださいますようお願いいたします。</p> <p>なお、早馬委員におかれましては、所用のため遅れるとの連絡をいただいておりますので、後ほど委嘱状を交付することといたします。</p> <p style="text-align: center;"><市長より各委員に委嘱状の交付></p>
政策課長	<p>それでは、ここで梶市長より、皆様にご挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>こんにちは。本日は、大変お忙しいところ、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。本年度第 1 回目の行政評価委員会を開会させていただくということで、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>ただいま委嘱状を交付させていただきましたが、委員の皆様には、これまでも丸亀市の行政のそれぞれの分野でご活躍をいただけてきました。今回は、行政評価委員会ということで非常に重要な役割を担っていただくこととなりますが、公募委員も含めて本委員会の趣旨にご理解をいただき、委員にご就任いただけたことに、心より感謝申し上げます。</p> <p>さて、以前より、市民の方々が行政に対して様々な意見、ニーズをお持ちに</p>

	<p>なる一方で、地方行政は財政的に非常に厳しい状況にありまして、本市におきましても、これまで以上に前例踏襲を廃し、事務事業を見直し、そして、新しい市民の望む丸亀市の姿を探っていかなければならないと思います。</p> <p>私自身も、そのような公約を掲げ、市長に就任させていただきまして4ヶ月が経過しましたが、本委員会の専門的な立場からのご提案をいただきながら、極力、来年度予算への反映や市役所内の仕事のやり方を変えることに繋げ、市民の側に立った、市民目線の市役所をつくっていく中で、私の思い描く「市民とともに安心して暮らせる丸亀をつくる」に向かいますよう努めてまいります。</p> <p>そういった意味から、本委員会は、重要な行政のチェックの役割を果たすものでございますので、よろしくお願い申し上げます、ご挨拶といたします。</p>
政策課長	<p>続きまして、各委員より一言ずつ自己紹介をいただきます。</p> <p><各委員自己紹介></p>
政策課長	<p>ありがとうございました。市長は、公務の都合上、ここで退席させていただきます。次に事務局の自己紹介をさせていただきます。</p> <p><事務局自己紹介></p>
政策課長	<p>以上のメンバーで行政評価委員会を進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日配布いたしました会議資料を確認します。</p> <p><配布資料の確認></p>
政策課長	<p>続いて、第1回目の行政評価委員会でございますので、事務局より「丸亀市行政評価委員会について」説明させていただきます。</p>
政策課副課長	<p><資料に基づき説明></p>
政策課長	<p>説明は終わりました。質問等はございますでしょうか。</p>
岡本委員	<p>資料のP4の平成23年度の行政評価に「評価を点数化し、ヒアリングを実施」とありますが、これはこの年に限って行ったことですか。</p>
政策課真鍋	<p>ヒアリングも評価の点数化も総合計画前期基本計画の総括として、この年に限って行ったものです。ヒアリングにつきましては、後期基本計画に向けて、それぞれの施策でどのような内容を盛り込んでいくか等について所管課の考え</p>

	<p>を聞くために実施したものです。また、評価の点数化につきましては、1施策の所管が複数の部課等に跨っておりますので、分かりやすく施策全体として評価するために、一定の基準を設けて、評価を点数化したものです。</p>
金委員	<p>最終的に市長に提出する報告書のイメージはどのようなものですか。</p>
政策課長	<p>評価の手法によってページ数の多寡は変わってきますが、これまでの例では、15～20 ページ程度の報告書となります。</p>
政策課長	<p>他に何かございますでしょうか。 ないようですので、続いて、委員長、副委員長の選任に移らせていただきます。実施要綱第7条第3項に「委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める」とあります。いかがいたしましょうか</p>
石原委員	<p>事務局に一任します。</p>
政策課長	<p>事務局の考えといたしましては、委員長は金委員、副委員長は森委員にお願いできればと考えておりますが、いかがでしょうか</p>
	<p><拍手で承認></p>
政策課長	<p>金委員、森委員におかれましては、ご了承いただけますでしょうか。</p>
	<p><両委員了承></p>
政策課長	<p>それでは、金委員長、森副委員長よろしくお願いたします。 両委員におかれましては、委員長席、副委員長席にお移りください。</p>
	<p><移動></p>
政策課長	<p>では、委員長、副委員長より一言ずつ、ご挨拶をお願いします。</p>
	<p><委員長、副委員長挨拶></p>
政策課長	<p>ありがとうございました。 なお、先ほどの説明でも触れましたが、市議会9月定例会におきまして、本委員会を附属機関として明確に位置付けるための附属機関設置条例の一部改正を予定しております。可決後は、附属機関設置条例に則り、委員長、副委員長は会長、副会長に名称が変わることとなりますので、ご了解ください。</p>

金委員長	<p>それでは、以後、委員長に議長を引き継ぎます。よろしくお願いします。</p> <p>それでは、ここからは、私が会議を進めさせていただきます。議事に入ります前に、現在8名の委員のうち7名のご出席をいただいておりますので、実施要綱第7条第6項に基づき、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>では、議事に移ります。「議事の1 平成25年度外部評価について」事務局の説明をお願いします。</p>
政策課真鍋	<p><資料に基づき説明></p>
金委員長	<p>ありがとうございました。質疑に入る前に、早馬委員がお見えになりましたので、委嘱状の交付と一言、自己紹介をお願いします。</p> <p><企画財政部長より委嘱状を交付、早馬委員自己紹介></p>
金委員長	<p>それでは議事に戻りまして、先ほどの事務局の説明に対して、質疑等がございましたらお願いします。</p>
石原委員	<p>事務事業のうち一般財源の投入額1,000万円以上が170事業とありますが、100万円以上なら何事業になりますか。また、全体としては何事業ですか。</p>
政策課長	<p>一般財源100万円以上の事業数については把握していませんが、全体としては、438事業あります。これらの内から本委員会では、10事業程度を選定して評価をしていただきたいと考えておりますので、絞り込みをしやすいよう、条件に合わせて33事業を抽出させていただいています。</p>
石原委員	<p>10程度の事業以外は評価する必要がないと考えているのですか。</p>
政策課長	<p>評価の必要性の問題ではなく、時間的な制約等もありますので、2年間の任期の1年目は10事業程度を選定して評価をいただければと考えております。評価事業数を絞ることにより、より深く掘り下げたご意見をいただきたいと考えております。</p>
黒田委員	<p>33事業から10事業を選定する上での資料提供はどのような形でしていただけるのでしょうか。</p>
政策課長	<p>ただいまの質問は、「議事の2 評価対象事業の選定」にも係わる部分です。ここで、後ほど予定していた資料の説明をさせていただきます。</p>

政策課真鍋	<本日配布の選定資料について説明>
岡本委員	10事業を選定する上で、今日いただいた資料の他は、政策課に問い合わせる回答してもらおうようになるのですね。
政策課真鍋	そのように考えています。
仁科委員	各委員からの質問の回答は、全委員に教えていただけますか。
政策課真鍋	そのように取り計らいます。
岡本委員	<p>短期間での選定作業になるので、1つ提案があります。選定する上で、何かテーマを絞るのか、または、各分野から万遍なく選ぶのかといった大まかな方針を話し合っておいてはいかがでしょうか。</p> <p>スケジュール案によると次回がヒアリングなので、委員同士で事業選定の調整をする時間はないと思いますので、ある程度の決まり事があったほうが良いと思います。</p>
金委員長	<p>事業選定において、テーマを決めて重点化して選ぶか、それとも、特にテーマは決めずに各分野から自由に選ぶかということは、たいへん重要な議論だと思います。</p> <p>しかし、この議論は、議題2に係わることなので、ここでひとまず、議題1の本年度の外部評価について、事務局案のとおりで良いか確認して、議論を次に進めたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p><異論なし></p>
金委員長	<p>それでは、議論1は事務局案のとおり承認として、引き続き、議題2の評価対象事業の選定について議論したいと思います。</p> <p>事務局より追加の説明はありますか。</p>
政策課真鍋	<資料に基づき追加説明>
森副委員長	テーマを決めるということは、所管課を選ぶということになるのですか。
岡本委員	例えば、健康福祉部に関する事業や子ども子育てに関する事業で括ると10事業程度になるので、そのようにテーマごとの重点的な評価もできるのではないかと思います。その場合、テーマから外れた事業の評価ができなくなるというデメリットもあります。

金委員長	事務局のスケジュール案では、今回はヒアリングになっており、事業選定についての議論をする時間はありませんが、場合によっては、ヒアリングまでにもう1回、事業選定のための会議を開いても良いのではないかと思います。その点についても、議論いただけますか。
政策課長	各委員からのご意見をお聞きしますと、事業選定は困難かつ慎重を期すべき重要な作業となりますので、皆さんの時間が許すのであれば、もう1回お集まりいただき、事業選定のための会議を開いても良いのではないかと思います。
岡本委員	今後のスケジュールを考えると、事業選定より、所管課とのヒアリングやその後の評価の議論に相当の時間を要するのではないかと思いますので、そちらを重視したいという気持ちもあります。
黒田委員	ヒアリングは所管課の説明を聞くだけでなく、十分に質疑応答をしようと思えば、かなりの時間が必要ではないですか。例えば、ヒアリングに2回、日程を取るということも考えてはどうでしょうか。
金委員長	ヒアリングにどれくらいの時間を割くかも考慮しておくべきですね。
政策課真鍋	ちなみに、平成22年度に同じような形式で10事業のヒアリングを行いました。が、午後0時から5時過ぎまでかかりました。
日野委員	前回のヒアリングを経験していますが、とにかくたいへんな作業でした。それぞれの委員が専門的な立場で質疑応答をしているうちに、自分の疑問も膨らんできたりして、次々と聞きたいことが出てくるケースもあり、時間の計算を立てることは難しいと思います。
黒田委員	ヒアリングでは、評価に必要な情報を得るために、しっかりと集中した中で説明を聞き、質疑応答等をしたと思います。そのためには5件くらいが限度かなと思いますし、時間を気にして、おざなりになることのないようにしたいです。
早馬委員	今ある33事業を見ても、よく分からないものもあり、それらをヒアリングするとなると、聞くことに精一杯で、こちらが聞きたいことをきちんと聞けるところまでいけるか考えてしまいます。ヒアリングが情報を詰め込むための流れ作業のようになってしまえば、その後で十分な評価ができるか不安です。
政策課長	ヒアリングの後に聞きたいことができれば、その次の評価についての議論の段階で、所管課に問い合わせしたり、場合によっては、追加のヒアリングも可

	<p>能です。ヒアリングに限らず会議を通じて、評価に必要な情報は提供していきたいと考えています。</p>
<p>金委員長</p>	<p>議論がいろいろな方向に分かれてきましたので、一旦整理したいと思います。</p> <p>まず、事業の選定に関しては、テーマを決めてしまうと、それぞれの委員の持つ興味や専門性、能力が十分に生かせなくなるかもしれないと感じます。意見も分かれていますので、ここでその点の結論は出さずに、まずは、各委員が自由に事業選定をしてみたいかがでしょうか。</p>
<p>日野委員</p>	<p>それでは、事業の選定にあたって、最終の選定作業を事務局をお願いするのであれば、例えば、同じ票数で並んだ複数の事業から1事業を選定しなければならぬときなど、優先順位の原則を決めておく必要はないでしょうか。</p>
<p>森副委員長</p>	<p>丸亀市にとって重要な事業を優先的に評価する方が良いと思いますが、原則の決め方が難しいと思います。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>今回お示ししている33事業にもいろいろな事業があります。本日、参考資料として総合計画後期基本計画を配布させていただいておりますので、その中の重点項目も参考にしながら、まずは、委員一人ひとりが評価したい事業を選定していただき、その上で、最終的には話し合いで最良の10事業を決定していただきたいと思います。</p>
<p>金委員長</p>	<p>そうなるとお忙しいとは思いますが、もう1回ヒアリングの前にお集まりいただいて、選定結果を見て、最終的な評価事業を協議して決めることとしたいと思います。</p> <p>あと、ヒアリングにどれくらいの時間を割くかという点はでしょうか。</p>
<p>日野委員</p>	<p>皆さんお仕事をお持ちなので、丸一日、会議に出て来ることは難しいのではないのでしょうか。半日でヒアリングをどれくらいできるかによって、1日か2日か決まってくると思います。</p>
<p>金委員長</p>	<p>先ほど事務局から追加のヒアリング等も可能との言葉もありましたので、ヒアリングについては、委員の日程調整をした上で、最も良い方法を考えたいと思います。他に事務局から何かありますか。</p>
<p>政策課長</p>	<p>それでは、10月のヒアリングの前にもう1回、会議を開催する方向で調整します。各委員にお配りした日程調整表にご記入いただけましたら、早急に日程を決めさせていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>また、事業選定表については、各委員が10事業選定いただき、提出してくだ</p>

金委員長	<p>さい。その際に質問事項等がございましたら、政策課までお問い合わせください。</p> <p>つきましては、メールでのやり取りが便利だと思います。各委員のメールアドレスを会議終了後に確認させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、以上で本日の会議を終了します。</p>
------	---